

## よくわかる! すぐ使える統計学—検定 CD 動作見本

赤文字をクリックすると Excel が起動して該当のページが表示されます。



### 4.5 実験・無作為割付・層別割付の場合 (図 4.13 の強調箇所の場合)

層別無作為割付による実験 (層別無作為化比較実験) の場合は、単純無作為割付による実験の場合と同様、検定は自分自身との比較結果を推測するための方法と考えることができます。

例1 ある市で機能訓練事業の効果をみるため、事前に参加者 42 名の了解を得たうえで、疾患別に無作為に同数ずつに群分けし、それぞれ訓練を 2 年間と 1 年間行ったところ、表 4.7の結果が得られた。疾患別の活動能力の増加 (中央値) は表 4.8 のようであった。訓練 2 年のものは訓練 1 年のものより活動能力が改善していないかどうかを判定したい。

このような場合に適用可能な検定としては  
の正確な  $P$  値を求めることができます。